

西国街道の今昔物語 ～大宰府官道から国道 2 号線まで～

講師：佐々木卓也(ひろしま歴史街道トリップ実行委員会・座長)

会場 コミュニティ・アカデミー上幟 9月14日(水) 18:30~20:00 定員 30名 当日受講料 500円

講演の趣旨：旅は道連れ、世は情け：みちを歩けば歴史が見えてくる

古来「影面の道」(かげとものみち)と呼ばれ、京師や畿内から西都大宰府へと至る官道として、大宝律令に規定され古代山陽道が開設されました。平安京から福原京の遷都で平清盛はこの官道を西国街道と称しました。近世に山陽道は五街道の脇街道として、管理や補修等は各藩に移譲され、各所に宿場町や一里塚は置かれ、やがて開港の許された長崎街道をも西国街道とも称し、西日本の基幹交通路として、明治以降は国道 2 号線として現在も存在します。広島藩主浅野家は西国街道と、萩藩・福山藩等は旧来の山陽道と称しました。これで天下の御膝元の江戸と、京・大坂を経て長崎へと結ばれる街道を通じ、「江戸の敵は長崎で討て」の故事と、西国大名では外来文化を受け入れる土壌ができ、やがて幕末維新への運動が起こりました。こうした流れについても解説いたします。



講師の紹介：佐々木卓也(ささき たくや)

1954 年生まれ広島市佐伯区在住。歴史的な文化資源を活かした、街歩きの指導・文化財の調査・公開講座などの企画を行う、私設の「間学苑：時空人論研究所」を主宰する。1981 年に「広島地名研究会」の事務局代表として、広島市を中心とした地名に関する講演会などを始める。「中国・地域づくり交流会」では研究部会の代表世話人を務める。「ひろしま歴史街道トリップ実行委員会」の座長として、

市民へ情報提供のための活動を幅広く展開している。中国地方を中心とした様々な歴史探訪ツアーを企画し、文化教室などに提案し、添乗ガイドを行うほか、広島市内の公民館や各文化センターでの講師として、市民の歴史に関する知的欲求にこたえる活動を行い、「歩けば歴史が見えてくる」をモットーに活躍している。こうした地域活動に対し、平成 26 年度：第 35 回広島文化賞を受賞された。

現住所 〒731-5125 広島市佐伯区五日市駅前 3-4-22 TEL/FAX. 082-922-6638

研究所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井 1-29-5-7 藤井方 TEL/FAX. 082-921-1497

なお、ご本人は持病のため何時も特殊眼鏡を掛けられておられます。

※受講をご希望の方は、①お名前、②年齢、③連絡先、住所をご記入の上で下記に E-Mail もしくは FAX にてお申込みください。

コミュニティ・アカデミー上幟

FAX : 082-225-8103

E-Mail : c.a.kaminobori@outlook.jp



会場地図

コミュニティ・アカデミー上幟 畠田ビル 2F コミュニティ・アカデミー上幟

<http://manabi-kaminobori.com/>